



2020年2月3日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

2019年11月7日・28日、保団連中央要請行動が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長が参加した。

11月7日

保団連主催の「今こそ！診療報酬の大幅引き上げ、患者負担軽減を！」集会に参加した。全国から医師・歯科医師・事務局合わせて130人と9人の国会議員が参加し、皆さんからお預かりした署名6674筆（三重県は83筆）を提出した。今集会は、来期の診療報酬改定を見据え、①診療報酬の10%以上の引き上げ②患者窓口負担増ストップ③消費税10%増税廃止の三つがメインの要請事項。

集会では、「もうこれ以上マイナス改定ではとても充実した診療ができない」「金パラ逆ザヤで経営が苦しい」「マイナス改定ではスタッフの給料も上げられない」など医師、歯科医師が現場からの声を出席した国会議員に伝えた。三重協会の梅村副会長も「これ以上の患者負担はもう限界」と訴えた。集会を前後して、三重県選出国会議員や比例東海、関連する参院議員の事務所を訪ねて先日のファックス会員署名を基に要請・陳情し、懇談した。

議員本人とお会いできたのは、吉田統彦氏（医師・衆・立民・比例東海）、岡田克也氏（衆・無・三重3区）、武田良介氏（参・共・比例）の3氏。それと前後して梅村副会長が厚労省要請に、私、鶴飼が保団連理事として財務省要請に参加した。

11月28日

衆議院第2議員会館で行われた「保険でより良い歯科医療を求める請願署名」と「子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願署名」提出集会に梅村副会長、伊藤事務局員と参加した。今年4月から全国の協会・医会で取り組んでいた署名の合計は、歯科署名約24万筆、矯正署名約8万6000筆。直接議員本人とお会いできたのは、眼科医師でもある吉田統彦議員（衆・立民・比例東海）お一人だったので、三重協会からは会員の皆さんや患者さんのご協力による歯科署名1068筆をお渡し、紹介議員となつていただいた。なお、矯正署名614筆は、中谷真一議員（衆・自民・山梨1区）にお渡しした。吉田議員との懇談では、医科歯科の基本診療料を同じにすべき、限られた予算の中で分け合うのではなく、歯科医療費の総枠を拡大すること、歯科技工問題は喫緊の課題であることなどわれわれの要望にほぼ同意していただいた。

昼からの集会には、全国から歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士など約230人、与野党合わせて過去最多の国会議員23人が参加し、現場の声を訴え、集会アピールを採択した。

また、集会後に梅村副会長と伊藤事務局員は、議員会館内の三重県選出国会議員事務所を訪問し、歯科診療報酬の大幅引き上げ、保険の利く範囲の拡大、患者負担軽減を要請した。私、鶴飼は、歯科技工問題で厚労省への要請と「保険で良い歯科医療を」全国連絡会世話人会に出席した。

（三重県保険医協会副会長・鶴飼伸）

以 上